



日本プライマリ・ケア連合学会
北海道ブロック支部 活動報告

発行人：支部長 木村 眞司
松前町立松前病院

ニュースレター No. 4 (2013. 12)

<第1回北海道プライマリ・ケアフォーラム開かれる！>

去る11月30日、札幌市において第1回北海道プライマリ・ケアフォーラムが支部主催、北海道の共催で成功裏に開かれましたので報告します。

ビラのごとくさまざまなセッションと基調講演が行なわれ、全道から108名の方々にご参加いただきました(写真1)。学生、初期研修医、後期研修医、医師、他の医療スタッフに加え、病院事務職員や行政の方々も参加されました。

このフォーラムは第1回と銘打ってはいませんが、実際には昨年まで「北海道家庭医療フォーラム」として5回にわたりNPO法人北海道プライマリ・ケアネットワーク(山本和利代表理事)により行なわれたのを当支部が引き継ぎ、名前を「北海道プライマリ・ケアフォーラム」と変更して行なったもので、実質的には今回で6回目になります。

企画には半年以上前からブロック支部幹事の堀哲也先生((医)北海道家庭医療学センター、国民健康保険上川医療センター)を中心に学生・薬剤師・若手医師(写真2)が寝食を忘れて取り組んでくれ、お陰で非常に魅力的なフォーラムになりました。

前半に行なわれたセッションは(1)家庭志向のプライマリ・ケアに関するワークショップや(2)学生企画によるプライマリ・ケアの魅力を実感してもらうワークショップ、(3)多職種ケースカンファレンスを実践してみるワークショップや(4)地域医療に関するシンポジウムからなり、それぞれに非常に活発に行われました(写真3)。



写真1



写真2



写真3

基調講演は筑波大学・水戸協同病院総合診療科教授の徳田安春先生に講師をお願いし、熱く語っていただきました（写真4）。講演の中で学生相手にケースカンファレンスも行なわれ、学生諸君も奮闘しました。

休憩時間には後期研修プログラム紹介も行なわれました。

懇親会にも多数が参加され、楽しいひとときを過ごしました。

フォーラムの裏方として、ブロック支部事務局に加え道庁、民間病院、自治体病院の事務の方々にも献身的にお手伝いいただき、非常に助かりました。



写真 4

来年度以降も充実したフォーラムになりますよう、支部会員一同で盛り上げてまいります。

<指導医養成講習会開かれる>

上記の北海道プライマリ・ケアフォーラムの「裏番組」として、別会場で指導医養成講習会が行なわれ、臺野副支部長、山田副支部長を中心とした指導陣の下、約50名の方々が熱心に学ばれました。お疲れ様でした！

<来年度のお知らせ>

来年6月28日（土）午後、第2回地方会が札幌市のかでる2・7（中央区北2西7）で開かれます。詳細は近々ご案内いたします。奮ってご参加下さい。